

令和6年12月19日
森林研究研修センター

報道関係者 各位

花粉の少ないスギの増産を始めます！

－ 花粉の少ないスギ品種の種子を採る施設（閉鎖型採種園）が完成 －

森林研究研修センターでは、県が進める「やまがた森林ノミクス」の施策目標「再造林率100%」の達成を下支えするため、今後必要とされるスギ苗木の安定供給と社会的な問題となっている花粉症への対応を目的として、花粉の少ないスギ品種（特定母樹）の増産を進めています。

今年度、敷地内（寒河江市）に整備を進めていたスギの種子を採る施設（閉鎖型採種園）の新築工事が完成し、施設内に種子を採るための親木の設置が完了しましたのでお知らせします。

つきましては、取材いただき県内外への周知に御協力をお願いします。

記

- 1 日 時 令和6年12月23日（月） 午前10時から
（日程が合わない場合は御相談ください。）
- 2 場 所 山形県森林研究研修センター（寒河江市大字寒河江丙2707）
- 3 説明内容 完成した閉鎖型採種園の概要説明と施設案内

（参考）用語の説明

- ・特定母樹：在来の品種と比較して花粉の量が半分以下であること、1.5倍以上の成長が見込めること、木材の剛性が優れていること、通直性が優れていることなどを基準に農林水産大臣が指定する品種。令和5年度末現在：山形県では14本指定済（全国第3位の指定本数）。
- ・閉鎖型採種園：外来花粉の侵入を防ぎ、特定母樹どうしの受粉を高めるための施設

【問い合わせ先】

山形県森林研究研修センター
担当：研究企画部長 早乙女 明
TEL:0237-84-4301

特定母樹の特徴

- ① 従来種の概ね半分以下の花粉発生量
- ② 初期成長が良い（下刈り経費を削減できる）
- ③ 短い期間で収穫できる（二酸化炭素を多く吸収する）
- ④ 材質（剛性）が良い



（上記資料：国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林総合研究所林木育種センターHP より）



閉鎖型採種園の概要



着 工：令和6年6月3日
完 成：令和6年12月5日
工事費：19,161千円
規 模：1棟（126㎡）
幅7m 長さ18m 高さ4.6m
母 樹：200本
採種量：3.5～5.0kg/年

